



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 二宮秀造 幹事 中島豊彦 広報委員長 奥 崇



電話(06)6345-1115(直通) 電話(06)6341-4411(ホテル) FAX(06)6344-8222 E-mail:temma-rc@lapis.plala.or.jp http://temmabashirc.xsrv.jp/

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

DECEMBER 8 2011 NO. 2136

家族月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2136回)
- 2) ソング 我等の生業
- 3) クリスマス家族会



次週(12月15日)のお知らせ

- 1) 例会 (2137回)
- 2) ソング ロータリー讃歌
- 3) 卓話 「e-Tax (国税電子申告・納税システム) について」
北税務署副署長 北尾 治穂 様
郡 悦清会員紹介
- 4) 第1回被選理事会

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

来訪ロータリアンの皆様ようこそおこしいた
だきました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

また、本日卓話をしていただきます霊崎信行
様には、お忙しい中お越しいただきまして誠に
有難うございます。後ほどの卓話よろしくお願
いします。

先週の土曜日の大阪御堂筋ロータリークラブ
主催の「スギ花粉を考える」シンポジウムでは、
私が講演の部の一部の座長を務めるというこ
とでクラブより応援していただきました。また30年
来の友人がご夫婦で来られ、また、15人もの大勢
の方に励まされながらなんとか無事に終わりました。
皆様に感謝申し上げます。定員200人の会場で
251人もの人が一堂に会して大変盛況で、大阪
御堂筋ロータリークラブより感謝の言葉があり、
会員の皆様方にもくれぐれもよろしくお伝
え下さいとのことでした。

次に、11月29日IM第6組11クラブの会長・幹事が
集まる「睦輪会」が開かれ、各クラブより上半期
の活動報告がありました。

そして11月30日には、重里会員が理事長をして
おられる学校法人「日本分析化学専門学校」で、
社会奉仕委員会の事業として毎年行われます日
本赤十字社、大阪府赤十字血液センターの血液

血液事業(有効94名献血)が行われました。クラ
ブより山田雅浩社会奉仕委員長、谷本圭二委員、
浅井副会長、そして私が参加いたしました。

最後に理事会報告ですが、東日本大震災のため
に地区で集められた義援金のことです。当ク
ラブとしては、中村直前会長の時に200万円、タイ
より30万円をいただき合計230万円を寄付いたし
ました。そして全国で988,481,433円集まり、その
内の116,051,698円が被災地に届けられました。
しかし、その残りの寄付金の使い道で意見が合
わず「一旦地区にお金を返して欲しい」というこ
とになり、先に被災地に寄付した金額分を差し
引いた88.26%分の寄付金1,765,200円、タイ国分
の264,780円が当クラブに返金されました。この
浄財を再び東日本大震災の震災孤児に見舞金と
して、産経新聞を通じて寄付できるように願
いしていく方向で協議し承認されました。また
タイ国への返金についても、水害お見舞金とし
てお返しすることが決議されました。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①創立44周年記念写真撮影にご参加頂きまし
た会員各位に写真をお配りしております。
- ②「タイ訪問のご案内」を本日お配りしていま
す。出欠のご返事を事務局までお願いいたし
ます。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	3名	会員総数	66名	12月1日の出席率	76.67%
国内ゲスト	2名	会員出席	46名(60名)	4週間前(11月10日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	21名	メイクアップを含む出席率	88.71%
外国ゲスト	0名	会員欠席	14名	メイクアップ実施会員	7名(欠席者14名)

③クリスマス家族会の出欠のご返事がまだの方は至急事務局までご提出をお願い致します。多数の会員ならびにご家族のご参加をお願いいたします。

④No.6.7テーブル情報集会在本日18:00~「青冥(チンミン)」堂島本店にて開催されます。ご出席の方は宜しく願いいたします。

⑤次々週例会終了後「第1回被選理事会」を開催いたします。本日もご案内させていただいておりますので関係各位宜しく願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

誕生日自祝 高松 貞彦
誕生日自祝 いつの間にか70才になりました

小寺 一矢
誕生日自祝 中川 政照

誕生日自祝 寺内 清視

誕生日自祝 石田 道夫

誕生日自祝 岡本 健

本日の卓話よろしく願います。尾関さんケア・プランセンター本日開設お祝い。

岸本 良一
中川委員長、中村実行委員長お疲れ出ませんようにあと一週間ガンバッテ下さい 川原 和彦
ニコニコにご協力有難うございます。

SAA一同

平成23年12月1日 合計金 75,000円
累計金 1,337,000円

☆☆ 先週(12月1日)の卓話 ☆☆

「地球温暖化対策・CO₂削減と日本の現状」

「わが町中津」を考える会

代表 霊崎 信行 様

岸本 良一 会員紹介



日本は京都議定書によりCO₂削減目標を公約、「温暖化対策推進法」「改正省エネ法」により法整備は進んだが、CO₂は増加する一方で目標達成とは程遠い現状です。

ところが3.11の東北大地震・福島原発事故以来、「脱原発」、「省エネ」の機運が一気に高まり、具体的な対策が我々の身近なものになってきました。

“発電方式の見直しによる対策”では原発は縮小の方向へ転換、太陽光や風力発電等はまだ安定性や費用対効果の低さからさらなる改良が必要です。

一方“省エネによる削減対策”の面においては2000年の初頭から国が旗を振り、省エネシステム導入費を電力削減分で賄う「ESCO事業」が提唱され、省エネ機器やシステムを提案する業者が氾濫、悪質なものが横行しています。省エネシステムを導入したくても、何が良いか判らない反面、優れた省エネシステムが普及しにくい状態が続いています。

経済不況を乗り越えるため企業も「コスト削減による競争力の強化」と「温暖化対策」は避けられない時代が到来しています。

そのために優れた省エネシステムを導入する判断基準を提供するものです。

☆ シンポジウム「スギ花粉を考える」☆



11月26日午後、大阪大学中之島センターにおいて標題のシンポジウムが開かれました。主催者は、この問題について積極的に取り組んでいる「大阪御堂筋ロータリークラブ」と「NPO御堂筋アズマ(喘息)ネットワーク」ですが、われらが「大阪天満橋ロータリークラブ」も、「大阪南ロータリークラブ」その他とともに共催者になっています。約200席の会場は、約半分はロータリアンで埋まり、残り半分は林業者や里

☆ 6・7テーブル情報集会 ☆

山を元気にする会などのボランティア活動家そしてアレルギー疾患の患者やその家族等々の一般参加者で満席になっていました。

わが国では、戦後杉の植林が全国的に活発に行われ、25～30年以上に成長した杉の雄花からはごく大量の花粉が広範囲に飛散するところから、1970年代からスギ花粉症の患者が急速に増え始め、今や全人口の4人に1人が罹患し、春先のシーズンだけで約700億円の医療費が毎年使われているという事態になっています。こうした環境の中で、林業～森林政策の観点から、いかにしてスギ花粉を有効に減らすことができるかを考えるのが今回のシンポジウムでした。

独立行政法人・森林総合研究所と内閣官房・国家戦略室から3人の講師が見えられ、「スギ花粉発生のからくり」「花粉飛散予報の精度」「間伐や枝打ちは有効か。皆伐ならどうか。」「樹種や品種の転換の必要性」「わが国林業の問題点と〈森林・林業再生プラン〉」など、私たち素人にとっても大変参考になる話をされました。共催団体であるわれらが天満橋クラブの二宮秀造会長は座長を務め、議事進行に精力的に取り組んでおられました。(親睦活動委員会)

☆ 献血推進 社会奉仕事業 報告 ☆

日 時：2011年11月30日(水)

場 所：(学)日本分析化学専門学校

参加者：127名

内 容：

- ・400ml＝103受付 採血78名不採血25名(体調不安定の為)朝食抜きなど。
- ・200ml＝24受付 採血16名不採血8名(上記と同じ)
- ・採血合計94名 不採血33名(事前啓発で解消できる)

血液センターからは年2回の実施希望がありました。重里会員が前向きに検討する(3月か4月に再度実施する事を考える)この事業を通じて感じたことは、我々ロータリアンが参加していない事が事業主催者として矛盾している。(次年度からは参加する方向で引継ぎをしたい)当日参加できない場合、例会終了後ヒルトンウエスト内の西梅田献血センターに行く事を進める。
当日の参加者：二宮会長・浅井副会長・谷本会員・永田会員・安田会員・山田雅浩です。



12月1日(木)北新地の中華料理店「青冥・堂島本店」において、No.6・7テーブル情報集会が開催されました。浅井副会長の開会挨拶で口火を切り、中村直前会長の乾杯の発声により和やかに始まりました。もつぱら「健康の話し」となり、南川パスト会長から「タバコはニコチンよりも煙に持つ『熱』が身体に悪い」とのお話しはインパクトがありました。健康の話しが一頻り話題となった後、税務署対策(相続)の話しで盛り上がりました。

料理はシェフが腕を奮ってのコース料理で「フカヒレ」が出てきた時は、今世界各国で鮫の乱獲に対する批判が高まってもうすぐ「フカヒレ」が食べられなくなる話もありました。「デフレ・インフレの話し」「ゴミ収集の環境問題の話し」「お金儲けの話し」など話しが尽きず閉会予定時間を大幅にオーバーした大変有意義なテーブル情報集会でした。ご出席の会員の皆様に感謝申し上げます。

出席会員：浅井、川原、南川、中川、中島(康)、中村(健)、西浦、大矢、高田、安田(ロースター順、敬称略)

No.7テーブルマスター 中島康之

☆☆ 本日のメニュー ☆☆
クリスマス家族会スペシャルディナー

我等の生業なりわい 集ついてつ図はるは心は一つつ
求とむとるところは 平やわらき 和わ親ひ睦つ
おとろとり 上 奉 仕
我等の集い
二、奉仕に集える我等は望む
正こしき道みに果こをとるを
人この世こをあらわて光あをあらわみつ
力あを協あせて争あを忌あむを
おとろとり 我等の集い
二、奉仕に集える我等は望む
正こしき道みに果こをとるを
人この世こをあらわて光あをあらわみつ
力あを協あせて争あを忌あむを
おとろとり 我等の集い

四つのテスト その由来をひもとく (4/4)

今こそ必要なのは倫理的誠実さ

1930年代に誕生して以来、60年以上の歳月が過ぎ去ったこの現代社会では、ある人たちが批判するように、四つのテストは、その有効性を喪失してしまっているのでしょうか？ それとも、変化のテンポの速いこの時代においても、事業や専門職に携わる人たちの指針として機能するに足る洗練さを保持しているのでしょうか？

真実かどうか—真実は不変であり、時代を超越するものです。真実は正義なくしては存在し得ません。

みんなに公平か—顔を突き合わせてとは言わないまでも、腕を伸ばせば届くような所で、激しくやり合うビジネス手法に代わり公平さを取り入れたビジネスは、お互いの関係を傷つけるよりも、その関係向上に役立ってきました。

好意と友情を深めるか—人は生まれながらにして、他者と協力して生きていく存在であり愛情を示すことは生来備わっている本能です。

みんなのためになるかどうか—この項目は、食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入するものです。

四つのテストは国家という枠を超えたものであり、国境や言葉の障壁を超越するものです。そこには、政治や独断や特定の信条は介在しません。一つの倫理規範としての存在以上である四つのテストは、いかなる形であれ、人生を成功に導くための要素を含み持っています。それは今日の社会でも有効性を保持し、かつ実効性のあるものなのです。

最終的なテストは、実際に行動することにあります。著名な心理学者であるウィリアム・ジェームズ (1842~1910年) は、「真実が意味するところの究極的なテストは、それが指示あるいは示唆する行動である」と、言っています。今日のロータリーの中核には、倫理的卓越性を使命とする四つのテストが存在します。人類は、共に繁栄することができるのです。現代のビジネスは、誠実かつ信頼のおけるものであり得るのです。人々は、お互いを信じ合うようになれるものなのです。

1977年のサンフランシスコ国際大会で、米国の取引改善協会 (不正広告の排除など商道德の改善を目指す実業家・生産者の団体) のジェームズ S. フィッシュ氏は、次のように語っています。「競争を原理とする企業経営システムが存続するためには、厳格な倫理規範という枠組みが必要です。実際のところ、資本主義制度の全体構造そのものが、信頼というものに大きく依存しています。つまり、ビジネスに携わるすべての人たちは、お互い同士だけでなく、大衆や消費者や株主や従業員とも、公平かつ誠実に対応するという信頼関係に依存しているのです」。

現代社会が今いちばん必要としているものは倫理的誠実さであると言ってもいいでしょう。四つのテストは、人々が価値ある目標を追い求める際の指針として活用できます。その目標とは、友人を探し選び、その友人関係を維持すること、周りの人たちと友好関係を築くこと、幸福な家庭生活をつくりあげること、高い倫理的・道徳的基準を設定し身につけること、自ら選択した事業や専門職で成功を収めること、より良き市民となり、次の世代にとっての良き手本となること、といったことです。

簡潔さの中に多くが語られ、感動的なまでに力強く、実のある成果を必ずもたらすこの四つのテストは、緊張と混乱と不確実性に満ちたこの世界のただ中に、清新で明るさにあふれた未来展望を与えてくれるのです。